

第3期（令和3年度～令和5年度）第4回日進市地域包括ケア検討会議 議事録

日時	令和5年3月14日（火） 午後2時から3時50分まで
場所	市役所第3会議室（Zoom 併用）
出席者	石田 路子（会長）、大島 亮（副会長）、中井 英貴、長谷川 清、曾我 香織理、神野 建三、徳留 裕子、伊東 幸仁、山田 紀子、横山 英治、齋藤 寛子、住田 敦子、村井 良則、富岡 亜希子
欠席者	板垣 恵美子、山田 幹雄、澁谷 いづみ
事務局	祖父江 直文（健康福祉部次長兼地域福祉課長）、西尾 直樹（地域福祉課主幹）、野村 圭一（地域福祉課地域支援係長）、櫻木 順子（地域福祉課地域支援係主査）、島津 ありさ（地域福祉課地域支援係主任）
説明者	藤田 綾子（保険年金課保険事業係長）、小濱 美紀（市民協働課生活相談係長）
傍聴の可否	可
傍聴の有無	無
次第	1 開会 2 あいさつ 3 議題 （1）令和5年度市町村保険者機能強化推進交付金及び市町村介護保険保険者努力支援交付金の評価結果について （2）高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について （3）高齢者、障害者等消費者安全確保について （4）介護保険制度の見直しについて （5）第9期にっしん高齢者ゆめプラン策定に向けた調査について 4 今後の予定 5 閉会
配布資料	次第 委員名簿 資料1 令和5年度市町村保険者機能強化推進交付金及び市町村介護保険保険者努力支援交付金の評価結果について 別添1－1 保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金について 別添1－2 令和5年度保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金評価指標（市町村分） 別添1－3 保険者機能強化推進交付金等に係る令和5年度評価結果の概要 資料2－1 部内連携による高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の充実に向けて 資料2－2 令和4年度高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

関連事業まとめ

- 資料 2 - 3 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業令和 4 年度新規事業の概要
- 資料 2 - 4 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施参考資料
- 資料 4 - 1 介護保険制度の見直しに関する意見（概要）
- 資料 4 - 2 介護保険制度の見直しに関する意見
- 資料 5 第 9 期にっしん高齢者ゆめプラン策定に向けた調査について

発 言 者	内 容
	1 開会
	2 あいさつ
会 長	(石田会長あいさつ)
事 務 局	(資料確認)
事 務 局	(傍聴人無し)
	3 議題
会 長	それでは議題（1）令和 5 年度市町村保険者機能強化推進交付金及び市町村介護保険保険者努力支援交付金の評価結果について事務局から説明をお願いします。
事 務 局	(資料 1、別添 1 - 1 ~ 1 - 3 に基づき説明)
会 長	ありがとうございました。 事務局からの説明にあったように、今回のこの交付金の内容で前回 4 位だったところが 2 位に上がったということは大変評価できると思いますけれども、今はまだまだ積み残している部分もあるということで、委員の皆様の方から何かご質問、ご意見ございましたらお手を挙げていただければと思いますがいかがでしょうか。
委 員	要介護度の変化率というのはどのように求めてグラフ化しているのですか。例えばこうすると点数が上がっていくというような、何か具体的なことが分かれば簡単に教えてください。
事 務 局	この変化率自体は国の方で全国の数字を一律で計算しておりますが、平均の出し方ですとか、どういう計算で変化率を出したかという詳細は分からないので、具体的な取り組みや分析ができていないのですが、国から注意されているのは、要介護認定を厳しく判定して要介護 3 とか 4 とか 5 を出さないようにしてしまうと、おのずと要介護の人数が減っていくので、そういうことは絶対にやらないよう釘は刺されています。あくまで要介護認定の事務自体は、全国一律の基準で行った上で、要介護 3 から 5 の人数を減らしていけるかどうかで、一つ考えられるのは、当然要介護 1・2 から重度化していき、要介護 3・4・5 になっていくという流れがあると思いますが、一方で急な病氣

発 言 者	内 容
事 務 局	<p>や骨折などで入院して要介護3がいきなり出てしまうという方もいらっしゃると思うので、そういったところを疾病の部分から予防していくと、いきなり要介護3になる方は減らせる可能性があるのかもしれないと思っております。この辺りは地域包括支援センターなど現場の方が感覚的に感じるものがあれば教えていただきたいと思っております。</p>
会 長	<p>特に中重度の方に関する要介護状態の維持改善という点についてポイントがないというご説明があったようですが、実際に、中重度の方の改善というのは一番難しいのかもしれないです。むしろ維持するだけで大変というようなところがあるかと思いますが、委員の皆様で他に何かご意見、ご質問があればお手を挙げていただきたいのですが、ございますか。</p>
委 員	<p>1点目ですが、資料1、3ページ目のPDCAサイクルは満点ということですが、グラフ上の⑦のところは配点と日進市の点数に差があったので、単純に配点が誤っているのでしょうか。</p> <p>2点目ですが、少し細かいところで、全国でトップ3の市町村はどこなのか分かれれば教えていただきたいです。それと、県内では先ほど豊明市が1位、日進市が2位ということでしたが、1位と2位でだいぶ点数の開きがあるのでしょうか。</p> <p>3点目ですが、市民への啓発事業で例えば講演会や公開講座、出前講座などは医療介護連携でも実施していますが、認知症施策のところでは評価項目に入っているのですが、他の指標には入っていないように思ったので、そこは評価の対象外なのでしょうか。</p> <p>最後にもう1点、この1位の市町村と平均ぐらいの市町村とで交付金の面で結構差があるのかどうか、答えにくいかもしれませんが、以上分かれれば教えてください。</p>
事 務 局	<p>まず上位1位から3位はどこかという話ですが、全国1位が北海道の上砂川町、2位が兵庫県の洲本市、3位が福島県の檜枝岐村です。</p> <p>それから豊明市との差ですが、豊明市が合計1706点、日進が1555点なので大体150点ぐらいの差になっています。なので先ほどの重度化のところでは日進市は240点まるっと落ちてくるのですが、半分でも点数が取れるともう少し近くなるかと思えます。</p> <p>それから、最後の交付金の額のご質問ですが、実はこのインセンティブ交付金の額については点数で傾斜配分はするのですが、基本的には第1号被保険者の数である程度の配分額は決まっております、そこに点数によって傾斜配分するというかたちです。人口規模が大きいところは日進市よりも点数が低くても、金額自体は多くなるということになりますので、一概には言えませんが、例えば豊明市との差で申し上げますと、豊明市は日進市よりも第1号被保険者の方が1000人ほど少な</p>

発 言 者	内 容
事 務 局	<p>いですが、交付金の額は 110 万円ほど多いので、少なくともこれくらい差があると交付金の違いが出てきています。同規模自治体でどれくらいかというのは分かりませんが、そのようなかたちです。</p> <p>あと、3 番目といたしますか、指標の関係の質問をもう一度お願いできますか。</p>
委 員	<p>例えば市民への啓発事業は認知症政策の部分では評価指標に入っていましたけど、医療・介護連携事業とか地域包括支援センターの事業など、他の指標ではほとんど入っていないように思ったのですが、このあたりは今までも指標にはなっていないのでしょうか。</p>
事 務 局	<p>明確に住民への普及啓発という書きぶりの指標はそこぐらいなのかもしれないませんが、他の箇所だと住民に対してアウトリーチをしているかとか、そういった指標があるので、いわゆる広く薄くという理解啓発ではないですが、必要な方に待ちの姿勢ではなくて、外に出ていってアウトリーチ的な取り組みをしてるかどうかというところの部分もありますので、そういった取り組みで評価されてるのかなと思います。</p> <p>あと、1 点目のグラフの間違いについては、集計の誤りかもしれないので、また確認させていただきます。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今回のこのデータにつきましては、今おおまかにポイントや問題のあるところをご説明いただきましたが、詳しく見ていくと、例えば全国平均より日進市がポイントとして低いところはいくつかあります。例えば、高齢者虐待防止体制の指標、資料 1 の 4 ページ 1 番上のグラフ③で日進が全国平均より低いです。このように自分の市の状況がこうしてデータ化して明らかになると、交付金がいくら出るかということもさることながら、実際の自分たちが行っている事業の中で、どの点についてどのようなポイントが相対的に進んでいないのかということも、ビジュアル的にはっきりわかるので、ぜひそういったところについては取り組んでいくきっかけとして考えていければいいかなと思っております。</p> <p>交付金の件につきまして、委員の皆様からご意見、ご質問は他にないので、議事は次に進めさせていただきますがよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、議題（2）に移ります。高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事 務 局	<p>(資料 2 - 1 ~ 2 - 4 に基づいて説明)</p>
会 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>事務局から色々と説明がありましたが、このような事業については今回ご参加いただいている委員の皆様も直接的に関わりがある方もい</p>

発 言 者	内 容
会 長	らっしゃるかと思いますが、何かご質問、ご要望などございますでしょうか。
委 員	<p>フレイル予防に関して色々な活動がしっかり行われていることが分かりました。非常に結構なことだと思います。</p> <p>ただ私ども老人クラブ連合会、もしくは単位老人クラブの活動を通じて見ていますと、老人クラブの活動に積極的に参加されてる方は非常にお元気でいいのですが、会に入っただけでも、イベント会場まで行くのが簡単でないとか、行事に参加してもついていけないとかで、なかなか参加が難しいような方もいらっしゃいます。新型コロナの影響で3年ぐらい活動が難しかった間に、ちょっと前までお元気だった方がすごく弱られてしまい、この地域に住むことが難しくなって施設へ行かれたとか、遠方の家族のもとへ行かれたとか、こういう方が出てきて非常に残念なのと、地域には老人クラブに入っていないなくて、このフレイル予防の対象になっているように健康に不安がある方などもいらっしゃいます。老人クラブで開催している健康や歌の活動、栄養に関する勉強会などに参加していただくとかなり役立ちますので、行政の方で現在色々と頑張っただけで、ぜひ地域の活動に会員登録だけでもして繋がってくださいと案内していただくと、我々の方もそういう方の見守りですとか、一緒になって活動ができると思いますのでよろしくをお願いします。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>地域の住民の皆様状況を神野委員から少しご説明いただきましたが、地域住民組織の関連で徳留委員や曾我委員はいかがでしょうか。ご意見、現状をお聞かせいただきたいですが、徳留委員いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>お願いしたいことが1点と、それから現在の状況をお話ししたいと思います。</p> <p>1つは、新しく栄養パトロールという制度をハイリスクアプローチで取り入れられ、対象者の方、それにアクセスしてくださった方は100%という結果が出ていますけれども、この方たちは次年度はもう対象者にはならないのでしょうか。というのも、新しい方をどんどん開発していくのか、あるいは繰り返し次年度も対象になるのか、次年度以降はどのように継続されるのかと思ひまして、繰り返し繰り返ししないと習慣というのはなかなか変わらないので、ぜひその辺りを考えていただきたいというのが1点です。</p> <p>それから、地域の立場から言いますと、先ほど神野委員も言われたように、なかなか人が集まらない、それから足の問題で会場に行けないなどがあります。現在ほとんどの方が80歳を超えると運転免許の返納をされています。それで私どもはとにかく歩いて来られるところで、</p>

発 言 者	内 容
委 員	<p>公民館を使って色々な健康事業をやっています。それで市にお願いしたいのは、市の中央1ヵ所ではなく、福祉会館もあるかもしれませんが、もう少し細かいところで、公民館レベルで支援していただけるととてもありがたいかなと思います。本当にどんどん高齢化が進んで、隣近所の方が骨折で施設に入ったとか、認知症の方はちらほら聞くぐらいですけれども、とにかくフレイルの状態で動けなくなった、悪化したということがありますので、歩いて行けるところで色々な事業をしていただけたらと思います。よろしくお願いします。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。質問がありましたので答えていただけますか。</p>
事 務 局	<p>栄養パトロール事業について回答させていただきます。この事業の対象者の特徴としては、基本的には健康については、他人に口出しをしてほしくない、自分で何とかやるから大丈夫というスタイルの方がとても多いです。なのでアンケートに協力はするけど、それ以上介入するなという人もいました。12名の方は栄養士がすごく親身に寄り添ってくださり、きちんと心をつかんで数カ月間の支援はできたので、信頼関係ができていたというのは1つ得たものかなと思います。おっしゃられたように、高齢者の全般的な話でもあるのですが、やはりこういった方たちはこちらから寄り添っていかないと、なかなか健康を維持するというのは難しい部分があるので、切れないように細くは繋がっていきたいので、来年度フォローアップは行っていきたいと思っております。あとは、そのフォローアップで年に1回は顔が見れるといいなというところと、会えなかった人たちにはしつこく毎年アプローチをして、いつかは繋がれるといいなという長い目でやっていければいいなと、東名古屋医師会の栄養ケアステーションとも事業の方向性を共有して、できるところからやっていきたいと思います。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。 それでは曾我委員からご質問、ご意見、現状報告等ございましたらよろしく申し上げます。</p>
委 員	<p>東山区も高齢化がかなり進んでいる区ではあると思います。東山区は結構範囲が広いので健康づくりなどは各団地自治会でそれぞれ工夫をしながら、健康管理に努めている状況です。色々な催し物があるとは思いますが、本当に高齢者の足というのが結構皆さん悩まされていて、特に東山は山の方なので坂道が多くて、同じ地域のところでも隣の自治会の施設に行きづらいとか、そういう声も聞いているので、やはり交通の便がいいところ、あと市としては色々なところで開催するのは大変だと思うのですが、少しずつ色々なところで事業をしていただけると色々な方が情報をキャッチして、こういうことが行われ</p>

発 言 者	内 容
委 員	<p>ているならもう少し足を伸ばして見に行こうか、というように繋がるのではないかなと思っています。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>こういったかたちで保健や介護予防に繋げる色々な事業が実施されているわけですがけれども、医療関係の先生方にもその辺りのお考えとか、今後のご要望も含めて少しご意見をいただきたいです。まず大島委員から、もし何かございましたらご意見いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>栄養パトロール事業で 160 名の方を選んで、その方を順番に健康状態やフレイルの状況も全てチェックしていくというのは素晴らしいです。全てこれが基本ではないかと思います。先ほどのご質問で 1 度選ばれた方は対象から外れるのかという話がありましたが、これから徐々に高齢の方が増えていくわけですから、こういう対象の方も増えていくでしょうし、そういった方にも繰り返し同じようにアプローチをしていっていただきたいと思います。</p> <p>対象になる方へのアプローチというのはどのような形でやられてるのかなと、例えばお手紙を 1 通送ってもおそらくご高齢の方は何のことか分からないとか、見過ごしてしまうとかそういったこともあると思うのですが、そのあたりの細かな配慮は漏れないのかなということを少し思いました。本当にこういったことをどんどん活発に進めていただくべきだと思います。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今少しご質問がありましたけど、ご説明いただけますか。</p>
事 務 局	<p>今回、対象を 75 歳から 85 歳ということで、まだ自力でフレイルだった状態を何とか生活改善をすることによって健康に戻せる気力・体力がある人たちをターゲット層として実施しておりますので、皆さん結構しっかり読んで、逆に「なんでこんな書類を送ってきたんだ」という強い苦情が多かったというところです。実際認知機能が落ちていく方とかですと、何か届いたぐらいの方が見えますので、そういった方はいらっしゃる前提で管理栄養士と相談しまして、「市からこういう書類送ったんだけど知ってる?」、「ちょっとお話を聞かせてもらっていい?」と、栄養士からちょっとずつ聞き取り、「15 分だけだからね」と言うと、「じゃあそれぐらいだったら協力するわ」というやりとりの中で、この事業は成り立っています。</p>
会 長	<p>ご苦労お察しいたしますけれども、ありがとうございました。</p> <p>では、中井委員から何かご意見、ご発言ございましたらよろしくお願います。</p>
委 員	<p>歯科医師会側からいろいろ提案したりしなければいけないところ</p>

発 言 者	内 容
委 員	<p>を、市の方からいつもご提案いただいて本当に頭が下がるのですが、先ほど今後の展開ということで、資料には書いてあるのですが、お話には出なかったですが、健口・健食げんき教室というのを名古屋学芸大学と地域福祉課が中心になって実施していただいているのですが、市民会館の小ホールなどに集まっていただいて、5 つぐらいのブースを順番に回って健康についての話を聞いていただくかたちで実施していただいて、非常にいいやり方だと思っています。</p> <p>質問ですが、今後も同じような感じで開催していただいけるものなのか、あるいは結構マンパワーが必要な事業だと思うので、何か違うかたちにしていきたいなどあったら教えていただきたいです。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>中井委員からご質問がありましたけどいかがですか。</p>
事 務 局	<p>健口・健食げんき教室については、昨年度までは市民会館でブースを設けて栄養と運動と口腔のブースを回っていただくようなかたちで実施させていただきました。今年度については、去年・一昨年にその教室に参加いただいた方のフォローアップというかたちで、名古屋学芸大学にて測定と、運動と栄養に関する講座をさせていただいております。最終日には石田先生からご提案いただいた、歯のブラッシングの講座を石田先生のご協力を得て行う予定です。</p> <p>口腔に関して言えば、健口・健食げんき教室とは別の教室にはなりますが、中井先生にも歯科の先生をご紹介いただき、先々週ぐらいに歯科の先生にオーラルフレイルに関する講座を一般介護予防事業として実施していただきまして、参加者の方も終わった後に熱心に先生にご質問されたりなどで非常に好評でした。口腔ケアに的を絞って教室を開催するということがなかなかこれまでできていなかったもので、今回歯科医師会の先生にご協力いただいて口腔教室ができたのは本市としても非常にありがたかったと思っておりますので、健口・健食げんき教室で行くのか、あるいは口腔を前面に打ち出した教室にするのか、逆に歯科の先生にご協力いただきながら来年度以降も組み立てていきたいと思っておりますので、ぜひ中井委員も含めて歯科医師会にご協力いただけるとありがたいなと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>長谷川委員からいかがでしょうか。</p>
委 員	<p>薬剤師会では保健センターからいただいたフレイル予防の CD を各薬局で流したり、運動の冊子を店頭や窓口で患者様に説明をさせていただいております。患者さんは実際フレイルの直前の方がほとんどですので、そういった方がご興味を持っておられるのでご説明をさせて</p>

発 言 者	内 容
委 員	<p>いただいております。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>服薬に関しては、患者さんが重複して服薬していたりなど不安定要素も多々あるので、今後はぜひ薬剤師の先生方にもご協力いただきながらフレイル対策を講じていっていただきたいなと思いますので、よろしくお願ひしたいです。</p> <p>それでは、地域包括支援センターや、実際にプログラムを担当していただいている方々から少しご意見をいただきたいと思います。地域包括支援センターの横山委員からよろしくお願ひします。</p>
委 員	<p>地域包括支援センターでは、地域の高齢者を足腰おたっしやクラブや栄養の事業にお誘ひしていますが、やはり傾向としてはだんだんと参加したいという方が増えてきているので、もう少し受け入れられる人数が増えたり、開催期間や回数が増えていくともう少し健康を意識した高齢者も増えていくのではないかなと思いますし、それを広げていくのが私たちの役割でもあるのではないかと感じております。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、西部地域包括支援センターの斎藤委員お願ひします。</p>
委 員	<p>先ほどの横山委員からの話にもあったように、私どもは事業者対象者の方や要支援の認定を持ちの方、少しリスクがある方たちがご利用されてる、足腰おたっしやクラブなどの教室のマネジメントをさせていただいたりもしています。その中でやはり、先ほど他の委員からもご発言があったように、足の問題のところ、足腰おたっしやクラブは送迎があるので週に1回半年間運動ができるのですが、終了した後にご自分で近くの福社会館などに行くのが非常に大変だということで、地域に繋ぐのが難しいような現状です。先ほど皆さんからご意見いただいた、地域の中で運動ができる場所というものがもう少し増えていくといいのかなと思います。やはり日進市としては足の問題が大きな問題になってきているのかなというのは現場として考えておまして、地域ケア会議などでも買い物も行けなくなったり地域に行けなくなったという声が非常に多く、そこは現場としては、介護事業所や日進市など様々な機関と連携を図りながら考えていかなければいけないところではないのかなと感じております。</p> <p>少し変わってきたなと思うところは、市から検診結果のデータなどで引っかけた方たちへ足腰おたっしやクラブなどの教室案内を送ってもらっているのですが、そういう教室に参加したいという意識のある方たちが増えてきたというのは現状として感じておりますので、そういったところをマネジメントをはかりながら支援していけるといいかなと思います。</p>

発 言 者	内 容
会 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは中部地域包括支援センターの山田委員お願いします。</p>
委 員	<p>足腰おたっしやクラブに利用者さんを紹介して一緒に関わることが多いのですが、せっかく足腰おたっしやクラブで半年間運動しても、その後の行き先、居場所的などころがなく結局介護保険に繋がってしまうようなことも多々あるような気がしております、意欲のある方に関して、皆さんがおっしゃっていたように、せっかく足腰が少し強くなって意欲もある方たちなので、自分の足で行ける場所に運動できる場所があるとすごくいいなというのは、最近特によく感じております。</p> <p>あと、コミュニティサロンについてですが、こちらにも定期的に地域包括支援センターから出前講座というかたちで参加させていただいて、福社会館の方も一生懸命熱心にやってくださっているのですが、参加者の方が女性の方が多くて男性の方がほほいらないような状況ですので、男性の方が参加できるような居場所も増えるといいのかなと思います。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>社会福祉協議会の伊東委員、いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>実際に私が窓口に出ることはないのですが、最近地域包括支援センターの窓口には様々な方が相談にも来られていて、高齢だとか、介護が必要だとかだけではなくて、例えば認知症の方や高齢世帯の中で生活困窮になっている方など色々な問題があると思っております、社会福祉協議会が今後どう関わっていくかについて、地域包括支援センターそのものの関わり方を見直す時期にもきているのかなと思いますし、将来的には社会福祉協議会の中の組織のあり方も考えていく時期かなと思っております。</p> <p>幸いにも社会福祉協議会には地域包括支援センターもあれば、生活困窮の担当もいますし、認知症に絡んで金銭管理などを行う日常支援の担当もいるという状況もございますので、そういう中で、将来社会福祉協議会がどういう関わり方ができるのかというのを、組織として考えていく時期かと思っておりますので、まだ具体的に決まっているわけではないですが、日進市と相談しながら進めていきたいと思っております。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。こういった事業展開の中で色々な課題が見えてくると思っておりますので、今後ともよろしくお願いします。</p> <p>それでは、富岡委員から何かございますでしょうか。</p>
委 員	<p>地域の方々と一緒に健康づくり・介護予防になるような支えあいの仕組みづくりを進めていく中で、他の委員からもご意見がありました</p>

発 言 者	内 容
委 員	<p>ように、閉じこもらずに外に出ましようという話をしたときに、公共交通のくるりんばすは使いづらいとか、足がないという話は私たちも非常に多く受けるのですが、くるりんばすが不便だとおっしゃっている方々に使ってみたかどうか聞くと9割以上の方が使わずに、使いづらい、とおっしゃっているのが地域に出るとよくわかります。ただ、ではなぜ使いづらいかと言うと、まず時刻表の見方が分からなかったりとか、やはり皆さん大体同じところで躓いているということも分かってきましたので、健康づくりとか介護予防の事業にあわせて、元気なうちからくるりんばすで出かけることが楽しくなるような、時刻表の読み方講座であったりとか、難しいと思いますけど、くるりんばすを使うと健康に直結する特典が市からあるような事業ができればいいのかなと思っており、第1層生活支援コーディネーターとして政策を提案していけるように、ニーズを把握していきたいと思います。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。 それでは住田委員から何かございますでしょうか。</p>
委 員	<p>私もこの栄養パトロール事業はアウトリーチ的な事業でとてもいいと思います。もちろん行動変容に繋がった方々は問題ないというか、今後も支援が継続できればいいと思います。一方、この事業の説明の際に地域の孤立化の問題という言葉も少し出ていましたが、拒否とか不在の方について、拒否をされてもしつこく関わっていくというお話もありましたが、やはり拒否される方というのは困窮の問題などがあるかもしれないので、地域との繋がりを持ちにくい方々を、いかに少しでも繋がりをもっていくのが課題になるのかなと思います。意識の高い方々は、自らしっかり回答したり、何かに繋がっていけるので予防しやすいと思いますが、そうでない方々をどういうふうにサポートしていくのかということと、関係機関が連携して目を向けていくことが必要ではないかなと思いました。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。 それでは最後に村井委員から、ちょうど栄養ケアステーションでこの事業の委託を受けていらっしゃるんですが、何かご要望等ございましたらお願いします。</p>
委 員	<p>やまびこ栄養ケアステーションに関しましては、先ほど市の藤田氏に説明していただいたとおりで、来年度も同様に継続していくということと、実際に訪問したりアプローチした管理栄養士自身が、拒否された人とか、うまく繋がらなかった人にどういうアプローチをしていけば上手くいくのかというのを1番の課題にしておりますので、その改善点を検討しながら次年度に繋げていきたいと思っております。 東名古屋医師会のやまびこ日進としましては、市から地域で出前講</p>

発 言 者	内 容
委 員	<p>座を実施できるようにという話があり今年度から実施しております、なるべく歩いていけるような地域の集会所などで開催できるように、もっと広報してどんどん依頼していただければと思っておりますのでよろしくお願いします。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様から様々なご意見が出ましたが、ぜひともこの事業についてはこれから先、さらに展開をしていただきたいと思いますと思っております。</p> <p>それでは一応この議題につきましては以上とさせていただきます、次の議題（３）に進めていきます。高齢者、障害者等消費者安全確保協議会について事務局からよろしくお願いいたします。</p>
事 務 局	<p>それでは早速ですが、地域包括ケア検討会議におきまして、この会議を兼ねるかたちで設置させていただきました消費者安全確保地域協議会のご報告をさせていただきます。</p> <p>まず1つ目の消費生活相談件数についてですが、今年度、令和5年2月28日現在の相談件数になりますが183件となっております。また、60歳以上の方の相談件数がそのうちの68件と約4割弱となっております。相談内容といたしましては、定期購入ですとか、新聞の勧誘、スマートフォンや光回線への乗り換えなどといった相談が多くなっております。特にコロナ禍による生活様式の変化後は、高齢者による定期購入の相談が増えておまして、定期購入だと知らずに申し込んでしまったですとか、解約がインターネットからのみでどう対応したらいいかわからないなどということで、相談員が斡旋に入るケースが大変増えております。また、市内でも特殊詐欺被害が発生しておまして、消費者の被害未然防止啓発や見守りが今後も一層必要であると考えております。消費生活センターでは出前講座を行っておりまして、老人クラブとかぶらっとホームなどで高齢者が陥りやすい消費者トラブルのご紹介ですとか、気をつけなければいけないポイントなどをお伝えしておりますが、この出前講座につきましては来年度以降も実施していきたいと考えております。</p> <p>続きまして関係機関との連携についてですが、現在地域包括支援センターと年2回程度打ち合わせをさせていただいているほか、毎月高齢者の方からの相談概要につきまして内容を共有しております。市内での特殊詐欺による前兆電話がかかってきた際に気をつけてくださいという情報共有をしたりもしております。また、実際に消費生活センターへ相談に来られた方を見守りに繋げる方法につきまして、消費生活センターで相談員が相談を受けている中で、例えば認知症による消費者トラブルではないかなと考えたときに、私どもの職員にそれが伝わり、私ども職員から地域福祉課職員に確認したりということも行っております。地域福祉課や地域包括支援センターが対象の方を把握し</p>

発 言 者	内 容
事 務 局	<p>ていらっしゃる場合はすぐに気をつけていただきたい点を私どもから伝えて情報共有したり、見守りにつなげております。このようなケースが今年度は5件ほどございました。その他、どこの機関にも繋がっていないケースが1件ございましたので、簡単に紹介させていただきます。</p> <p>相談内容としましては、業者との契約の解約を求めるということで相談員が仲介斡旋を行いまして、解約ですとか、解約に伴う工事の日程を決めたのですが、その後で相談者さん本人が理由もなく解約をしまいまして、なおかつ相談の進捗状況を忘れてしまってどうしていいのかわからなくてパニックを起こされてしまい、そのパニックの状態ですら消費生活センターへ電話をしてきたり、来庁されるということが続きました。そのために地域福祉課にも確認をしたのですが、地域福祉課でも地域包括支援センターでもその方に関しては把握していないということでしたので、消費生活センターの相談員がその方に何か困ってることないかなど相談以外のことで少しお聞きしたところ、ご本人が実は支援を必要としている、誰かに助けてもらいたいということをおっしゃられたので、そのまま地域包括支援センターに繋がったというケースがございました。今回のケースからも、地域福祉課や地域包括支援センターとの連携等、手順も改めまして確認することができたと考えております。</p> <p>続きまして今後の課題についてですが、消費生活センターへの相談としまして、原則は契約者本人からのご相談を受けつけております。これは契約した時の状況を相談員もきちっと把握し、それによって迅速な解決方法を見つけることができるようにという理由です。ただ、地域包括支援センター等の職員が、自分が支援している方が詐欺にあっていると思われる、ただ本人は詐欺ではないと信じていて消費生活センターに相談に行く必要はないと言われるような場合には、なかなか消費生活センターの方から動くことは難しいものですから、こういった場合が課題となっております。このような場合に相談に来られた地域包括支援センターの職員に詐欺にあっていると思われるようなポイントをお伝えして、支援されてる方に伝えてもらい説得していただくようにしておりますが、なかなかご本人様に伝えられず、説得されて消費生活センターに来られた頃には既に被害が非常に大きくなってしまっているということもございます。今後はこういった事例を減らすためにも、消費者への啓発だけではなく地域包括支援センター等の職員の方への出前講座ですとか、消費生活の啓発などを行い、こういったところに気をつけていただきたいのかのポイントや声掛けの方法などを伝えて、市民の方の消費被害の未然防止に努めていきたいと考えております。</p>

発 言 者	内 容
事 務 局	短いですが、以上で報告を終わります。ありがとうございます。
会 長	ありがとうございました。 委員の皆様の方からご質問とかご意見がございますでしょうか。
委 員	<p>私自身ではなくて、私の知人が被害に近い状況にあった事例がありまして、深夜に帰宅したところ玄関の鍵が開かなくてインターネットで検索して鍵を開けてくれる業者さんに来てもらって開錠を頼んだところ、5分か10分ぐらいでできたらしいのですが、6万円ほど請求されました。開けただけなので鍵を取り替えないといけなく、さらに数万円かかりますというようなお話で、非常に高額の請求をされたものですから、とりあえず解錠の分だけ支払ったのとのことでした。</p> <p>その話を聞いて、自分でも業者さん何社かにこういう時どのぐらい費用がかかるのかというのを照会したりした結果、どうも過大な請求を受けて支払ってしまったと分かったので、名古屋市に住んでる知人だったものですから、名古屋市の消費生活センターへ連絡しましたら本人でないと受け付けられないということでしたので、県庁の方に連絡しまして、一応話は聞いていただいたんですけど、業者さんにどんな指導をしていただけるか、どうなったかまた聞きたいと言ったら、「それはできません」と、「お聞きしました」というだけでした。県会議員にもその旨を伝えてどうなったのか調べてもらったのですが、あまり私が期待してるような返事はありませんでした。</p> <p>インターネットの情報でもいくら費用がかかるのか明快でなく、細かく調べていくとこれだけ請求できるというのが出てくるのですが、通常の間帯でしたら適切な1万円とか2万円ぐらいでできる業者さんにお願ひできたかもしれませんが、夜間だったので来てもらえる業者さんにお願ひして、法外に請求されてしまっても払わざるを得なかったということでしたので、その会社にも電話して過大な請求ではないかとお話したんですけど、メニューにそういうのがあり、これだけ請求できるようになっているということでした。</p> <p>消費生活相談センターはもう少しこういうビジネスについて、利用者がある程度納得できるように、料金については分かりやすく示して、納得した上で利用するというかたちになるように指導していただけるとありがたいと思います。</p>
会 長	ありがとうございました。 他の皆様の方から何かご意見ございますでしょうか。
	(意見なし)
会 長	この事業は始まったばかりですが、おそらく瞬く間にこういった事例が増えていくと思いますので、ぜひともまたその内容についてこういった機会にご報告いただいて共有していきたいと思ひます。ありが

発 言 者	内 容
会 長	<p>とうございました。</p> <p>それでは次の議題に進めていきます。議題（４）介護保険制度の見直しについて、事務局からお願いします。</p>
事 務 局	(資料４－１、４－２に基づき説明)
会 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様の方でご質問とかございますか。</p>
	(質問なし)
会 長	<p>介護保険制度については４月からもう１度取り直しということで議論が再開されますけれども、介護保険は改悪に改悪が加わっているというような批判もありますが、最終的にせつかくできた制度ですので持続可能なものにして維持していくことは非常に重要です。その中で、やはり高齢者にどのぐらい負担が回ってしまうのかというところも問題になっていますし、そこで従事している専門職の方々の負担もどういうふうに軽減していくか、この辺の課題も山積しておりますので、今後の議論を皆様もぜひ関心を持って見ていただいて、何か現場での声があるようでしたらぜひとも上げていただきたいと思いますと思っております。</p> <p>それでは最後になりました議題（５）第９期にしん高齢者ゆめプラン策定に向けた調査について、事務局からお願いいたします。</p>
事 務 局	(資料５に基づき説明)
会 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは今の説明について、委員の皆様から何かご要望等ございましたらご意見をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
	(意見なし)
会 長	<p>今後アンケート結果の分析に入るということでして、実際の日進の状況、地域の高齢者の方々の実情というのがここで数値が出てくるかと思っておりますので、今後この結果を見て、ぜひとも皆さんからのご意見をいただきたいと思っております。</p> <p>それでは長い時間になりましたが、一応議題についてはこれで終了となりますので、事務局にお戻しさせていただきます。</p>
事 務 局	<p>石田会長、委員の皆様、長時間にわたりましてありがとうございました。</p> <p>今年度の地域包括ケア検討会議につきましては以上で終了になります。来年度につきましては第９期介護保険事業計画の策定の年にあたりますので、少し回数が多くなりまして、年４回程度開催を予定しております。詳しい時期につきましては決定次第お知らせさせていただきますのでよろしくをお願いいたします。</p>
事 務 局	ありがとうございました。

発 言 者	内 容
事 務 局	以上をもちまして第4回日進市地域包括ケア検討会議を閉会いたします。皆様ご協力ありがとうございました。
	5 閉会